

空想楽器ワークショップ& コンサート

ロバの音楽座(東京都)

どこにもない 自分だけの 楽器を作ろう



ワークショップでは、「ロバの杖」(写真)のほか、ブーと鳴らすと口がばくばく動く牛乳パック製の「ブーバク君」作りにも挑戦。

中世・ルネッサンス時代の古楽器を使って音楽を奏でるユニークな集団がある。それが「ロバの合奏団」だ。素朴なのにどこか幻想的な、まるでおとぎ話のような音色。古楽器の魅力を通して、自然の中にある様々な音に耳をすませる。そんなワークショップを行っている。

「風の音や葉が奏でる音。身近な自然の中にも音がたくさんあります。楽器は人間が自然と会話するためのものだったと思うんです。ワークショップでは、私たちの身の回りのいろんな素材を使って、オリジナル楽器を作ります。それを私たちは「空想楽器」と呼んでいるんです」(ロバの音楽座代表・松本雅隆さん)

ワークショップには空想楽器の「ブーバク君」作りと「ロバの杖」作りがある。子どもたちに人気なのは「ロバの杖」。太く丈夫で手ごろな長さの木に、潰した王冠のベルや空き缶の太鼓、色とりどりのリボンなどを飾り付ける。最後に杖の下を布でくるめばできあがり。手にとってシャランシャランと鳴らしながら歩けば、気分は中世の魔法使いだ。

夏休みに行う年に1度の「ロバの学校」というキャンプの最終日の夜には、作った楽器を奏でながら、ほかのどこにもないお祭りを自分たちで作り上げる。



上夏休みに行うキャンプ「ロバの学校」の様子。こちらの参加者も募集中。右自分で作った空想楽器「ロバの杖」。鳴らし出したら止まらない。



新聞紙
深緑色の紙

DATA

日時 ▶ 7月28・30日。「ブーバク君」作りは午前10時～。「ロバの杖」作りは午後2時～。ミニコンサート、合奏タイムあり。
場所 ▶ ロバハウス(東京都立川市)
対象 ▶ 小学生以上(定員30人)
料金 ▶ 3000円(親子で)
申し込み ▶ ロバハウス ☎042-536-7266
URL ▶ <http://www.roba-house.com>

KID'sの為の モノづくり職業体験

大阪工業技術専門学校・
ものづくりワクワク隊
(大阪府)

DATA

日時 ▶ 7月28日 午前10～午後12時、午後1時30分～3時30分
場所 ▶ 大阪工業技術専門学校・モノ作りギャラリー(大阪府大阪市)
対象 ▶ 小学1～6年生と保護者、各回20組40人程度
料金 ▶ 500円(材料費)
申し込み ▶ 電話、またはHPで「モノづくりの学校」で検索して申し込み
締切 ▶ 7月21日
問い合わせ ▶ 大阪工業技術専門学校 ☎0120-0910-19
URL ▶ <http://www.oct.ac.jp/index.html>

大人も満足の デザイン性高い 小物製作を体験

学校創立111年を記念して、2006年7月から始まった「モノづくりワクワク隊」。子ども向けの教室だが、大人顔負けのデザイン性の高い物を作ることができる。今年の夏はピンナップボード付きミニイーゼル、またはミニチュアチェアを作る。用途を考え、仕上がりイメージして、ノコギリやボール盤を使って、木を切ったり穴を開けたりする。美しい物づくりをするための要点を学ぼう。

DATA

日時 ▶ 8月4日
場所 ▶ 日本デルモンテのトマト契約栽培畑(群馬県渋川市)
対象 ▶ 小学1～6年生と保護者、20組40人
料金 ▶ 4000円(子ども1000円+保護者3000円、交通費など含む)
申し込み ▶ はがき、ファクス、HP
締切 ▶ 7月12日
問い合わせ ▶ キッコマン親子の「食」体験事務局 ☎03-3572-0411
URL ▶ <http://www.kikkoman-purclub.com/>

畑の真ん中で トマトを食べて ソースも作る

ピンク色の生食用や赤い加工用、調理用などトマトにもいろいろある。親子の「食」体験で触れるのは赤い加工用のトマトだ。畑ではゴロゴロとトマトが地面をはっている様子がビックリ。収穫後は、トマトソースや焼きトマトを作って試食。加工用だから過熱してもおいしく、2度ビックリだ。南米原産のトマトが日本に持ち込まれた歴史や栄養価、家庭での栽培方法などの話も聞ける。

親子の「食」体験 群馬・まるごとトマト 体験編

もの知りしょうゆ館
(キッコマン)(千葉が兵庫)